

(一部抜粋)

香南市地域公共交通計画



令和4年3月

(令和8年5月最終改訂)

香南市

香南市地域公共交通計画

令和4年3月

第1版(令和5年5月改訂)

第2版(令和8年5月改訂)

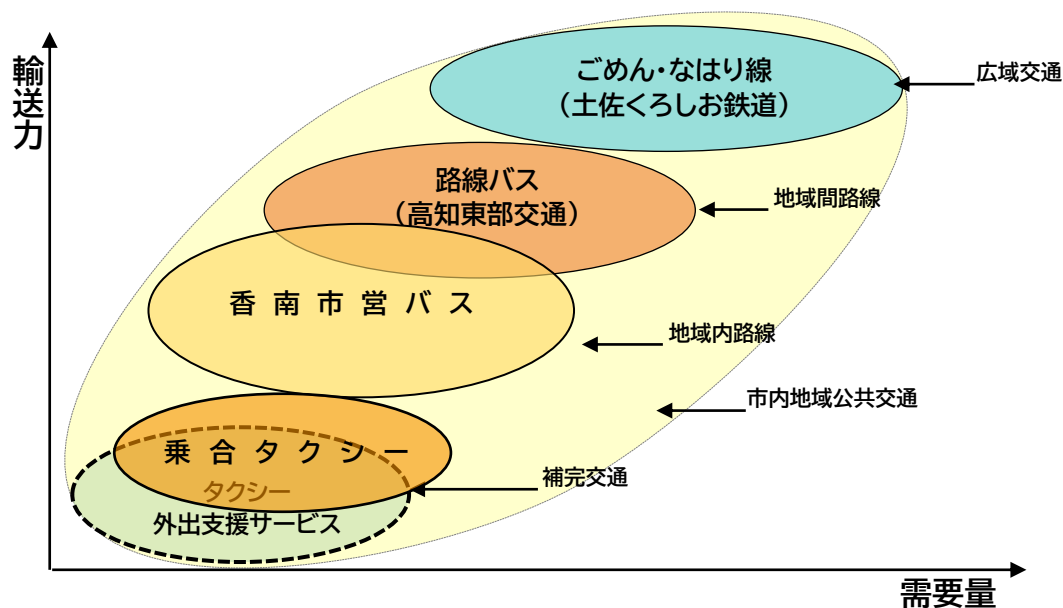
(3)望ましい公共交通ネットワークのあり方

- 香南市の地域公共交通ネットワークは、将来の都市構造を踏まえ、既存の公共交通網を有効に活用し、広域交通及び地域間交通(ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線)、市内の各拠点を繋ぐ地域内路線(香南市営バス、乗合タクシー)、補完交通(タクシー、外出支援サービス等)の4段階に機能分担を図り、地域公共交通機関相互の接続・連携により、香南市民の生活交通、更に来訪者の二次交通としても機能させ、利便性向上と効率的な運行を目指す。
- 交通結節点としては、ごめん・なはり線のいち駅、夜須駅に加え、市営バス路線のAコープ前、市場前、保健センター前等を位置づけ、待合空間の整備・乗継情報の提供等の機能強化を図る。

■地域公共交通システムの機能分担

機能分類		性格・役割	
広域交通	鉄道	○都市間連絡の骨格となる広域公共交通軸 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応	○土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線
市内地域公共交通	地域間路線		○高知東部交通安芸線 ○空港乗合タクシー
	地域内路線	幹線 ○都市拠点と生活拠点を連絡、市街地の連携・一体化 ○広域交通・地域間交通への接続	○香南市営バス
		支線 ○生活拠点と集落拠点を連絡 ○幹線路線を補完	○香南市営バス ○新たな交通手段(乗合タクシー)
	補完交通		○タクシー ○民間送迎サービス ○地域や福祉政策等で行う外出支援サービス等
交通結節点		○上記地域公共交通システムの連携拠点で、待合空間の整備・乗継ぎ情報の提供等の機能強化を図るべき拠点	○のいち駅 ○夜須駅 ○市場前 ○Aコープ前 ○保健センター前 等

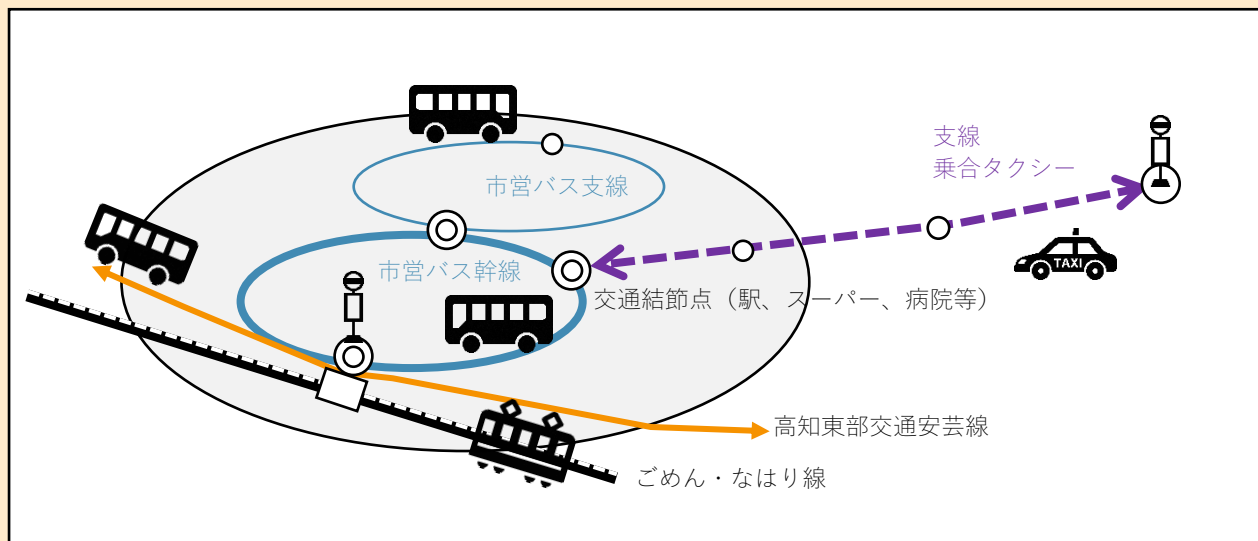
■輸送力と需要量との関係による市内地域公共交通の位置づけ(役割分担)



■山間や公共交通空白・不便地域で対応する乗合タクシーイメージ

概要	市営バスを幹線と支線に交通結節点で分け、利用が少数の支線は、バスの代わりに乗合タクシー(予約式)を導入する。
スクール	スクール混乗のある路線を運休する場合でもスクールのみは継続運行。
運行範囲	市営バス利用が少数の路線及び地区並びに公共交通空白・不便地域
料金	市営バスと同等程度
車両	タクシー事業者の車両
予約形式	乗車の1時間前までに予約

■図 運行イメージ



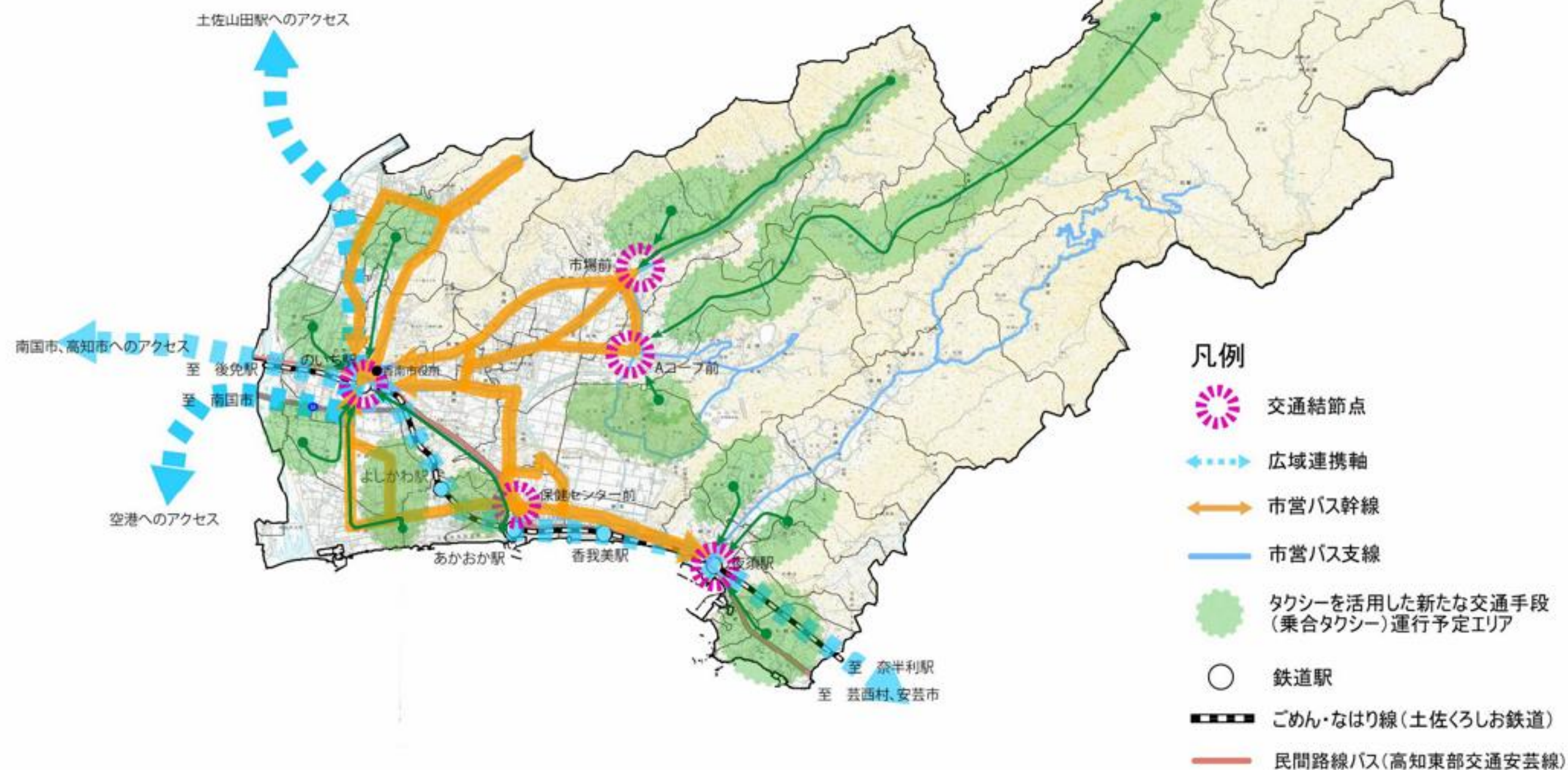
■地域公共交通ネットワークの将来イメージ図（(案)）

■市営バス幹線・支線概要

概要	市営バスを幹線と支線に交通結節点で分け、幹線については便数の増加等によってサービスを充実させ、支線については、現状のサービス維持向上を図る。
運行範囲	既存の市営バス路線（乗合タクシーエリアを除く）
車両	既存のバス車両の活用

■タクシーを活用した新たな交通手段（乗合タクシー）運行概要

概要	市営バスを幹線と支線に交通結節点で分け、利用が少数の支線は、バスの代わりに乗合タクシー（予約式）を導入する。※スクール混乗のある路線は現状維持とする
運行範囲	市営バス利用が少数の路線及び地区並びに公共交通空白・不便地域（緑色エリア）
車両	タクシー事業者の車両



7 計画の目標と評価指標

- 計画の目標に向けた進捗状況を把握するための指標を下記の通り設定する。
- 各目標指標の設定にあたっては、施策や事業をどれだけ実施したかの量や程度など、行政活動の結果を示す「アウトプット指標」とアウトプットの結果により得られる成果や満足度などを示す「アウトカム指標」を設定する。
- 計画の目標の実現にあたっては、適正な財政運営のもと施策および事業を遂行する。

①基本方針1：生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成

目標	目標指標の定義	現状値	目標値 (2027)
目標 1：公共交通利用者数の増加	市営バス及び予約式乗合タクシー 年間利用者数 (第2次香南市振興計画目標)	30,126 人※ (2020 年数値)	40,000 人
	高知東部交通安芸線 年間利用者数	57,456 人 (2020 年数値)	60,000 人
	ごめん・なはり線 市内駅年間乗降者数	581,558人 (2020 年数値)	598,000 人
目標 2：公共交通利用者の満足度の向上	公共交通利用者調査による市営バス利用者の満足度	58.9%	63.0%
目標 3：交通結節点の接続率向上	交通結節点(のいち駅・夜須駅)の接続率	67.2%	81.7%
目標 4：居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築	全人口に対する公共交通不便地域における人口割合	2.3%	1.0%未満
目標 5：適正な財政運営	市営バスの財政負担額・収支率	53,000 千円 11.1% (2020 年数値)	現状維持
	高知東部交通安芸線の財政負担額・収支率	4,471 千円 33.5% (2021 年数値)	現状維持
目標 6：広域アクセス向上による定住・交流人口の増加	香南市人口の社会増加数 (第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略目標)	66人 (2020 年数値)	115 人 (2024 年目標値)
	観光入り込み客数 (第2次香南市振興計画目標)	907千人/年 (2020 年数値)	1,280 千人/年 (2026 年目標値)

※予約式乗合タクシーは令和 5 年 10 月から運行を開始。市営バス及び予約式乗合タクシー年間利用者数の現状値(2020 年数値 30,126 人)は市営バスのみの利用者数。

②基本方針2：利用しやすく使いたくなるような交通環境づくり

目標	目標指標の定義	現状値 (2021)	目標値 (2027)
目標 7: 誰もが移動しやすい環境の充実	市民アンケート調査における「外出に困ることがある、困っている」の割合	8.8%	5% 未満に下げる
	市民アンケート調査における待合空間の満足度 (鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均)	8.6%	向上
目標 8: 乗り継ぎしやすい環境の充実	市民アンケート調査における乗り継ぎ環境の満足度 (鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均)	6.6%	向上

③基本方針3：公共交通の利用促進と情報発信の強化

目標	目標指標の定義	現状値 (2021)	目標値 (2027)
目標 9: わかりやすい運行情報の提供	市民アンケート調査における公共交通を利用する人の割合	6.8%	向上
	市民アンケート調査における運行情報案内の満足度 (鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均)	11.0%	向上
目標 10: 公共交通を利用する機会の向上	モビリティ・マネジメントの取組件数※	-	年間 10 件
	地域住民との意見交換会や説明会の実施件数	-	年間 20 件

※モビリティ・マネジメント…過度に自動車に頼る状態から公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度(＝かしこく)利用する状態へと少しずつ変えていく一連の取組。

④基本方針4：多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通

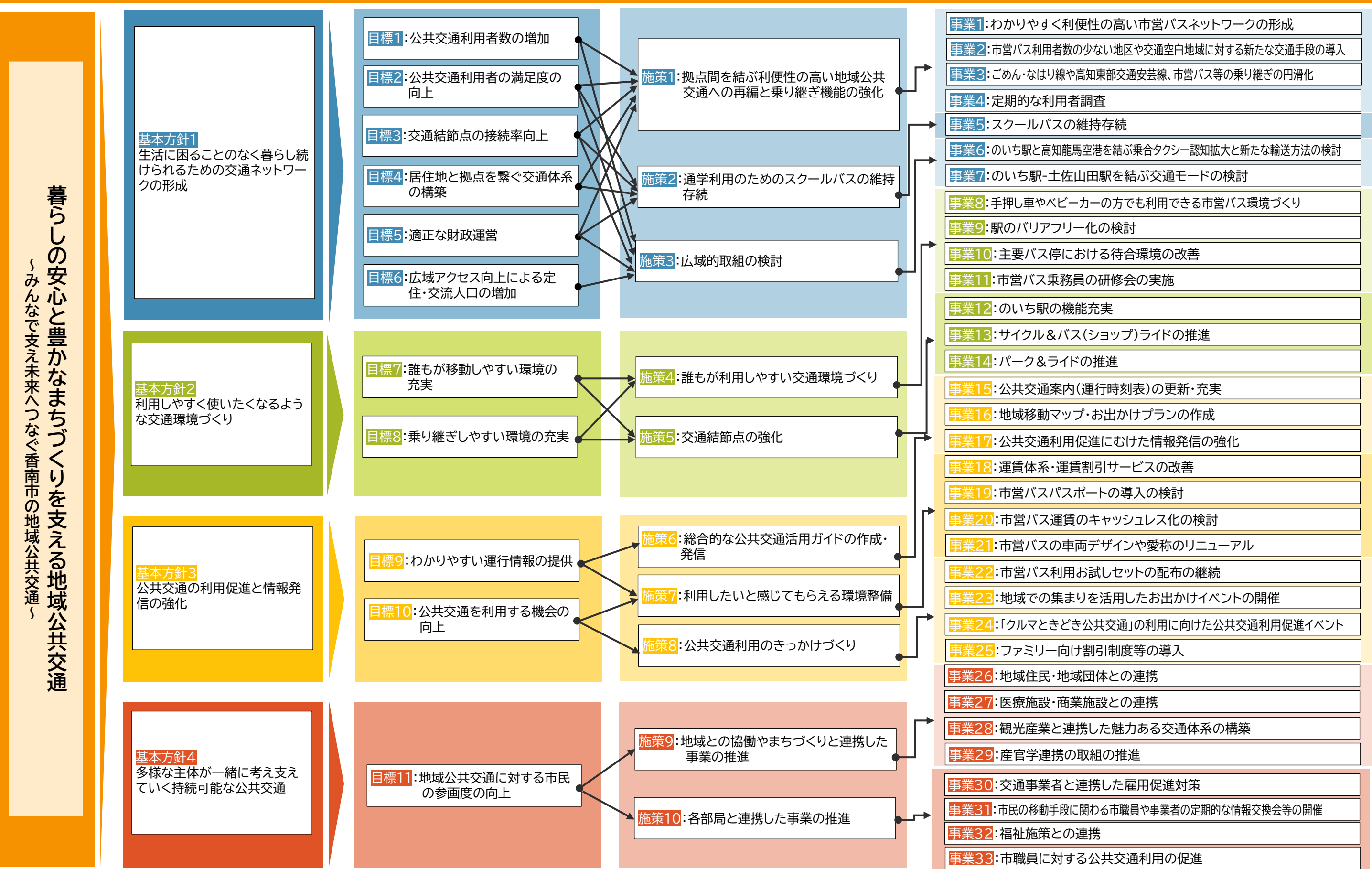
目標	目標指標の定義	現状値 (2021)	目標値 (2027)
目標11: 地域公共交通に対する市民の参画度の向上	地域や事業者との協働の取組件数	-	8 件

■参考 目標設定の考え方

目標	目標指標の定義	目標設定の考え方
目標1: 公共交通利用者数の増加	市営バス及び予約式乗合タクシー年間利用者数	第2次香南市振興計画における市営バス年間利用者数の目標値に、令和5年10月運行開始の予約式乗合タクシーの年間利用者数を加えた数値。
	高知東部交通安芸線年間利用者数	公共交通利用促進により、現状の利用者数よりやや増加することを目指して設定。
	ごめん・なはり線 市内駅年間乗降者数	
目標2: 公共交通利用者の満足度の向上	公共交通利用者調査による市営バス利用者の満足度	令和3年度公共交通利用者調査より市営バスの満足度が「やや不満」「不満」で4.1%が解消され、ポイント分が満足度向上に繋がることを想定し63.0%と設定。
目標3: 交通結節点の接続率向上	交通結節点(のいち駅・夜須駅)の接続率	のいち駅および夜須駅について市営バスの各路線から高知方面へ乗継可能な本数の割合を接続率として設定。(ごめん・なはり線が10～30分または高知東部交通安芸線が5～30分で乗継できる便)目標値は、市営バス各路線で接続率60%以下の路線に対し、接続可能本数を1本以上追加した場合を想定し、81.7%と設定。
目標4: 居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築	全人口に対する公共交通不便地域における人口割合	本計画の推進により、本村・山北・西川・徳王子・西山地区等の公共交通空白地域が解消されることにより、公共交通空白地域に住む人口割合を1.0%未満になるものとして目標値を設定。
目標5: 適正な財政運営	市営バスの財政負担額・収支率	利用実態やニーズに考慮した効果的な運行によりサービス水準の維持・向上を図りつつ、現状の財政負担額及び収支率を維持することを目指す。
	高知東部交通安芸線の財政負担額・収支率	
目標6: 広域アクセス向上による定住・交流人口の増加	香南市人口の社会増加数	第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に示す目標値を踏襲。
	観光入り込み客数	第2次香南市振興計画に示す目標値を踏襲。
目標7: 誰もが移動しやすい環境の充実	市民アンケート調査における外出に困っている人の割合	「外出に困ることがある、外出に困っている」と回答した人の割合を現状値として設定し、その改善を図る。
	市民アンケート調査における待合空間の満足度	鉄道・路線バス・市営バスの満足度(「満足」「やや満足」の合計)の平均値を現状値として設定し、満足度の向上を図る。
目標8: 乗り継ぎしやすい環境の充実	市民アンケート調査における乗り継ぎ環境の満足度	鉄道・路線バス・市営バスの満足度(「満足」「やや満足」の合計)の平均値を現状値として設定し、満足度の向上を図る。
目標9: わかりやすい運行情報の提供	市民アンケート調査における公共交通を利用する人の割合	主な交通手段について、公共交通を利用している人の割合を現状値として設定し、その向上を図る。
	市民アンケート調査における運行情報案内の満足度	鉄道・路線バス・市営バスの満足度(「満足」「やや満足」の合計)の平均値を現状値として設定し、満足度の向上を図る。
目標10: 公共交通を利用する機会の向上	モビリティ・マネジメントの取組件数	年間の取組件数を把握し、目標値として設定。
	地域住民との意見交換会や説明会の実施件数	年間の実施件数を把握し、目標値として設定。
目標11: 地域公共交通に対する市民の参画度の向上	地域や事業者との協働の取組件数	基本方針4で示す8事業全ての取組を実現することを目指して設定。

8 目標達成に向けた具体的な施策

(1) 施策および具体事業



(2)具体事業

基本方針1 生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成

施策1 拠点間を結ぶ利便性の高い地域公共交通への再編と乗り継ぎ機能の強化

【事業①】わかりやすく利便性の高い市営バスネットワークの形成

事業内容

○市内を運行する「市営バス路線」と「あらたな交通手段」を地域間幹線系統(高知東部交通安芸線)に接続するフィーダー系統と位置づけ、以下のとおり路線再編、交通ネットワークの形成を図る。

○重複・煩雑化しているのいち駅から香我美中心部間の路線を集約・再編し、サービス水準を向上することで分かりやすく利便性の高いバスネットワークの形成を目指す。

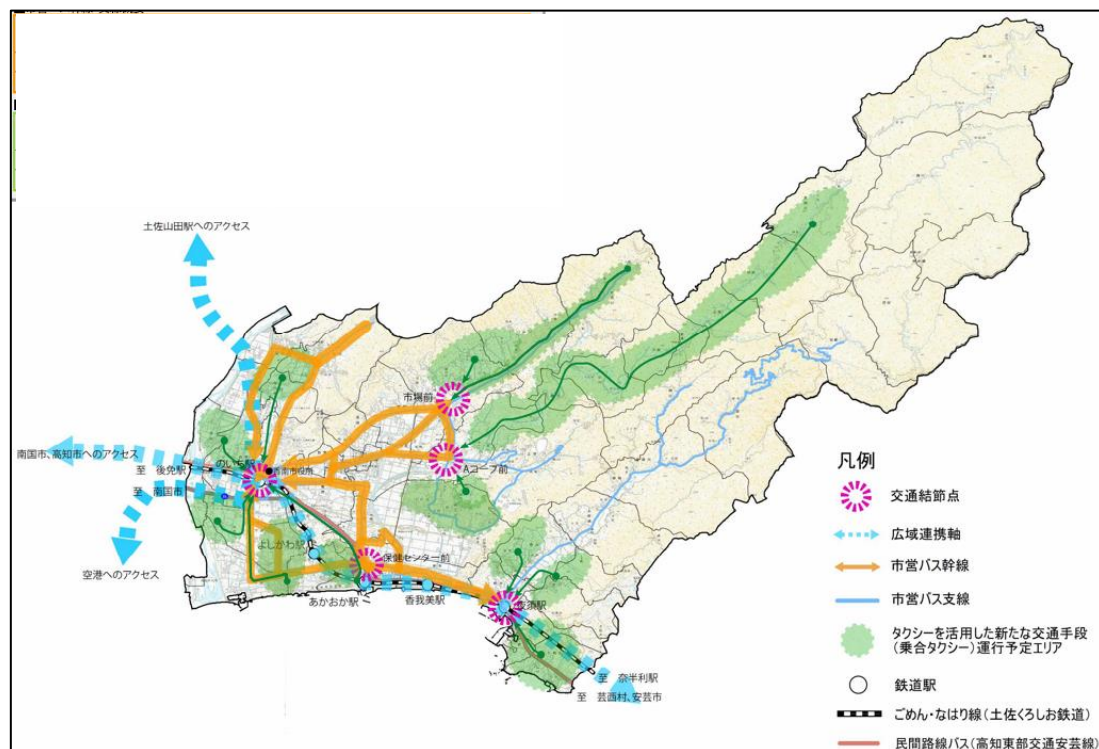
○具体的には、山南・徳王子線、西川線、東川線、のいち香我美線に該当するのいち駅から A コープ前や市場前の路線の見直し再編を検討する。

○利用者数の少ない路線・区間については、タクシー事業者の車両を活用した乗合タクシーへの移行を行い、バス路線の運行本数の充実を図る。(事業②に記載)

■運行変更点イメージ

	路線名	市街地・幹線路線	端末部・支線路線
1	のいち東部循環線	現行路線を維持(一部ルート変更)	
2	のいち北部循環線	運行本数の充実	-
3	吉川・下井線(上り)	運行本数の充実	-
	吉川・下井線(下り)	運行本数の充実	-
4	吉川・横井線(上り)	運行本数の充実	-
	吉川・横井線(下り)	運行本数の充実	-
5	山南・徳王子線	シンプル化・再編	運行本数の充実
6	西川線(上り)	シンプル化・再編	運行本数の充実
	西川線(下り)	シンプル化・再編	運行本数の充実
7	東川線(上り)	シンプル化・再編	乗合タクシー(予約式)へ移行
	東川線(下り)	シンプル化・再編	乗合タクシー(予約式)へ移行
8	土居・赤岡線	運行本数の充実	-
9	深淵・母代寺線	乗合タクシー(予約式)へ移行	
10	のいち西部線	乗合タクシー(予約式)へ移行	
11	のいち・香我美線(上り)	シンプル化・再編	-
	のいち・香我美線(下り)	シンプル化・再編	-
12	羽尾・細川線(上り)	現行路線を維持	
	羽尾・細川線(下り)	現行路線を維持	
13	千切・行間循環線(右回り)	乗合タクシー(予約式)へ移行	
	千切・行間循環線(左回り)	乗合タクシー(予約式)へ移行	
14	手結・住吉線	乗合タクシー(予約式)へ移行	

■運行イメージ(101 頁:地域公共交通ネットワーク図(案)再掲)



実施主体 香南市、市営バス運行事業者、タクシー事業者

実施時期 (年度)	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	準備	実施			見直し	

【事業②】市営バス利用者数の少ない地区や交通空白地域に対する新たな交通手段の導入

事業内容

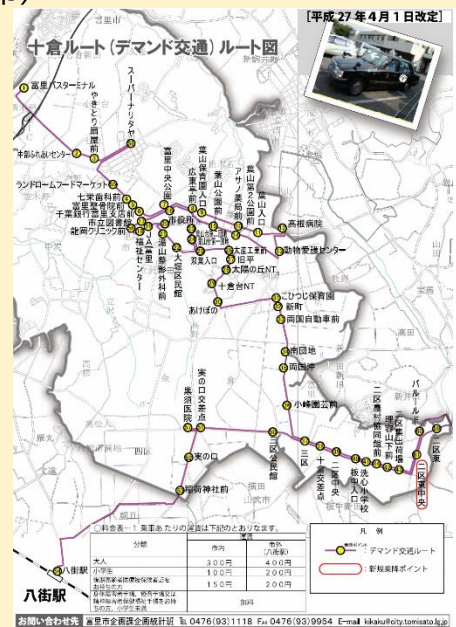
- 利用者数の少ない市営バス路線・区間の地区や公共交通空白・不便地域については、タクシー事業者の車両を活用した乗合タクシーの導入を目指す。
- 現在市営バスが運行していない地区で公共交通空白となっている地区では、地区住民と十分に協議し、必要に応じて新たな交通手段の導入を検討する。

■乗合タクシー導入概要(予定)

運行開始	令和5年 10 月から実証運行を経て本格運行へ移行
対象路線 (区間)	東川線(下河内～奈良峠)、深淵・母代寺線、のいち西部線、夜須中部線、手結・住吉線、徳王子線、山北・西川線、吉原・横井線、古川・赤岡西部線
運行方式	定時定路線又はエリア型(予約式運行)
車両	タクシー車両
運賃	市営バスと同程度を想定
運行時間帯・便数	地域住民との協議により設定する。
乗降場所	地域住民との協議により設定する。 ※タクシーの活用により車両が小型化し、中山間地域や狭い道路も運行できることから、可能な範囲で地域住民の望む乗降場所の設置が可能。

■例:定時定路線型乗合タクシー(千葉県富里市)

- ・事前登録の完全予約制で、利用者から予約があった場合に、バスのように決められた乗降ポイント間を定時定路線にて乗合運行している。



実施主体

香南市、タクシー事業者

実施時期 (年度)

2022	2023	2024	2025	2026	2027
準備		実証運行・検証・本格運行			

参考資料

(1)香南市地域公共交通会議 委員名簿（令和8年4月1日時点）

	所属等	氏名
委員	香南市 副市長	北村 浩司
委員	高知東部交通(株) 代表取締役	坂本 泰資
委員	(有)平和観光 代表取締役社長	今西 俊雄
委員	(株)のいちタクシー 代表取締役社長	中村 光明
委員	(有)さくらハイヤー 代表取締役	山本 倫世
委員	(有)野島ハイヤー 代表取締役	野島 康博
委員	(社)高知県バス協会 専務理事	松山 明夫
委員	土佐くろしお鉄道(株) 代表取締役社長	山脇 深
委員	香南市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター	別役 修
委員	住民又は利用者の代表	吉田 雅彦
委員	住民又は利用者の代表	山中 節子
委員	四国運輸局高知支局 首席運輸企画専門官	十川 牧子
委員	四国運輸局高知支局 首席運輸企画専門官	安澤 友行
委員	高知工科大学 交通基盤研究室 准教授	西内 裕晶
委員	南国警察署 交通課長	岸野 真輔
委員	高知県中央東土木事務所 道路管理課長	宇賀 義政
委員	土佐国道事務所 管理第二課長	門田 健一
委員	高知県交通運輸政策課 課長補佐	岡田 真樹
委員	香南市教育委員会 教育次長	坂本 充子
委員	香南市高齢者介護課長	中島 貴也

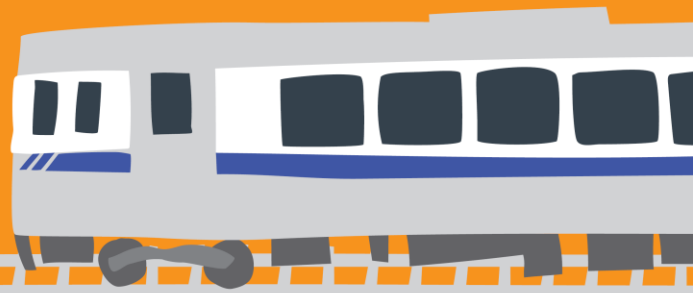
**香南市地域公共交通計画
令和4年3月(令和8年5月最終改訂)**

発行:香南市

編集:香南市地域支援課

〒781-5292

高知県香南市野市町西野 2706



公共交通をもっと身近に！ ENJOY LIFE



香南市地域公共交通計画

令和4年3月（令和8年5月最終改訂）

発行：香南市

編集：香南市地域支援課

〒781-5292

高知県香南市野市町西野 2706

